

広陵町中小企業振興条例 第4回ワークショップ 報告書

日時	2018年11月8日(木) 18時00分～20時40分
会場	広陵町役場
参加者	27名(広陵町職員5名を含む)
テーマ	振興計画に記述する施策の検討

平成30年11月8日(木)に広陵町中小企業振興条例の第3回ワークショップ(以下「WS」という)を実施し、地元企業の経営者ら22人にお集まりいただきました。

今回は振興基本条例に基づき策定する振興計画に記述する施策を検討するため、町が示した具体案をもとに話し合いをおこないました。

お忙しいなか、お集まりいただいた皆さまありがとうございました。



討議テーマ：振興計画に記述すべき施策について

「町内で働く担い手づくり」、「企業間連携の強化」「経営基盤の強化」「地域内経済の活性化」の4つのテーマごとに、第3回ワークショップで出された意見をもとに町から下記の具体案を皆さんに示しました。

◆◆ 町内で働く担い手づくり ◆◆

- ・人材育成のための支援 → 事業所で実施する研修について助成をおこなう
- ・町内企業PR活動 → ネットを活用したPR活動の検討
- ・起業家への支援 → 起業家の方を対象としたコンペを実施し、優秀者へ助成をおこなう

◆◆ 企業間連携の強化 ◆◆

- ・課題別小委員会の設置 → プロジェクトチームを設置し、交流の場をつくる
- ・インターンシップ・商品開発等における連携 → 詳細は小委員会で検討

◆◆ 経営基盤の強化 ◆◆

- ・設備投資促進補助金の見直し → 既存設備の更新や中古品も条件付きで認める
- ・債務保証補給金の見直し → 利用頻度の高いマル経融資利息分への変更

◆◆ 地域内経済の活性化 ◆◆

- ・現状把握に向けた実態調査 → 学生や女性の雇用促進に必要な取組検討のため
- ・消費者（事業者）へのPR → 付加価値の周知

この案をもとに、修正すべき点や新たな発想を皆さんからいただきました。

● 修正点

◆◆ 町内で働く担い手づくり ◆◆

- ・女性やシニア世代の方々と各事業所のマッチング
→ 人材バンク等で町が事業所へ有能な人材を紹介する取組など
- ・新卒者採用のための産学官連携
→ 学生に町内企業を知ってもらい、インターンシップやアルバイトをおこなってもらえる環境づくり
- ・テーマを決めた起業家のコンペ開催
→ 地域の課題をテーマとしてコンペを実施し、優秀者へ支援をおこなう

◆◆ 企業間連携の強化 ◆◆

- ・コーディネーターによる支援
→ 異業種間でのマッチングや商品開発のためのコーディネーターの設置
- ・異業種間による商品開発
→ 同業種にはない新たな発想による商品開発の実施
- ・知的財産の保護
→ 同業種での交流による技術漏洩を防ぐため、知的財産の保護を町が支援する

◆◆ 経営基盤の強化 ◆◆

- ・アドバイザーによる支援
→ 国への補助金助成や販路拡大などを総合的に支援する
- ・幅広い業種で活用できる補助金
→ 製造業に限らない枠組みでの補助
- ・がんばる企業への支援
→ 事業計画の策定等、今後がんばる意思がある企業への重点的な支援

◆◆ 地域内経済の活性化 ◆◆

- ・特産品販売所の設置
→ 町内の特産品を購入することが可能な販売所
- ・企業立地・移住の促進
→ 本社の移転や従業員の移住
- ・地域文化の発信による域内消費の推進
→ 町により愛着を持ってもらい、域内での消費につなげる

● 新たな発想

- ・町全体の魅力発信
→ ブランド化による特産品のメディア露出や特色ある中小企業等の情報発信をおこなえる組織（地域商社や住民による応援隊など）の立ち上げ
- ・新たな人材の発掘
→ マーケティングやプロモーションをおこなえる人材の発掘や優秀な学生の就職を支援するため、意欲のある人たちが集まることのできる場所の提供をおこない、職場見学など事業所と接する機会を増やす。

